

## 解答例

## 適性検査 I

1	問題 1	デザインをすべき対象について少しわからなくなる。そして注意深くそのものについて考えるようになり、よりリアルにそのものを感じ取ることができるようになる。	20 点
	問題 2	身体が無意識にピックアップする価値をそのまま残すことにより、機能を特化せず、使う側にとってのデザインの存在感を消し、あるいは無意識の中にデザインをはめこんでしまっているもの。	20 点
	問題 3	(省略)	60 点

適性検査Ⅱ

1	問題 1	全ての車がゴールできる移動の回数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">7</span> (回)	14 点
		車 B が 1 回の移動で進む数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">2</span> 車 C が 1 回の移動で進む数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">2</span>	
	問題 2	車 B が 1 回の移動で進む数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">2</span> 車 C が 1 回の移動で進む数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">1</span>	10 点
		車 B と車 C が進むことができなかった回数の合計 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">2</span> (回)	
	問題 3	〔車③の速さ〕 時速 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">30</span> (km)	16 点
		<p>〔説明〕</p> <p>車③は 10 時 10 分から 11 時までの 50 分間に、車①に 11 時ちょうどに 3 回追い付く速さよりおそく、2 回追い付く速さ以上で走ればよい。</p> <p>3 回の場合は、2 回停車した 20 分を引いた 30 分間で 18000 m 走るの、速さは <math>18000 \div 30 = 600</math> と計算して、分速 600 m。</p> <p>2 回の場合は、1 回停車した 10 分を引いた 40 分間で 18000 m 走るの、速さは <math>18000 \div 40 = 450</math> と計算して、分速 450 m。</p> <p>だから、分速 450 m 以上 600 m 未満の中で、1 時間あたりに進む道のりを km で表した場合にそのあたいが整数となるものの一つは時速 30 km である。</p> <p>このとき車③は車②に追い付かれることはない。</p>	

	問題 1	〔同じ理由で行ったこと〕 3代しょう軍足かがよしみつは、朝ていを意識してき族と同等な高い地位についたこと。	8 点
		〔年表(表1)イの時代の戦乱がカード(図1)②の戦乱とちがう根きよになる点〕 しょう軍の家来ではなく、ばく府と朝ていによる戦らんである点。	
		〔年表(表1)エの時代の戦乱がカード(図1)②の戦乱とちがう根きよになる点〕 京都ではなく、美のの国でおきた戦らんである点。	
2	問題 2	〔建物の番号〕 ①                      〔位置の表現〕 左京七条二ぼう	8 点
		〔説明〕 すざく大路の東側に位置しているから「左京」、六条大路と七条大路の間の区画に位置しているから「七条」、大宮大路と西のとう院大路の間は、すざく大路から二つ東の区画に位置しているから「二ぼう」となるから。	
	問題 3	〔説明〕 せきが改良されたことにより、①から③の区間の魚の総数は、2009年の31ひきと比かくして、2010年の63ひきは約2倍、2011年の364ひきは約11.7倍と増えている。 このように、せきの改良工事が行われたよく年には、その上流の区間への魚の移動が見られるようになった。	14 点

問題 1	選んだもの	節の番号		6 点 (3 点 × 2)
	目	1		
	あし	2、3、4		
問題 2	記号	[入れる板] C	[飼育ケースの明るさ] D	14 点 (記号 3 点、 理由 11 点)
	理由	<p>結果 1 より、板の色は茶色のさなぎになることには関係がないと考えられる。</p> <p>結果 2 より、明るい部屋でツルツルの板を入れると 20 個中茶色のさなぎは 2 個、ガラガラの板を入れると茶色のさなぎは 11 個になる。暗い部屋でツルツルの板を入れると 20 個中茶色のさなぎは 16 個、ガラガラの板を入れると茶色のさなぎは 17 個になる。このため、ガラガラの板を入れ、暗くした方が良く考えられる。</p>		
問題 3	[春や夏に見られるさなぎと秋の終わりに見られるさなぎのちがい]			10 点(5 点 × 2)
	<p>春や夏に見られるさなぎは 1～2 週間で成虫になるが、秋の終わりに見られるさなぎは、あたたかい部屋に置いて成虫になるまでに 36～90 日かかる。</p> <p>「5℃で冷やす日数が長くなるほど」</p> <p>成虫になる日がそろいやすい。</p>			

3